

平成26年度下半期財政の状況 (26年10月1日～27年3月31日)

市民の皆さんが納めた税金の使いみちと市の財政状況を、毎年2回公表しています。

今回は、26年度に実施した主な事業と、年度末における一般会計・特別会計の歳入・歳出予算の執行状況などをお知らせします。企業会計(水道事業)は「広報あきしま」7月1日号でお知らせします。

なお、数値はすべて27年3月31日現在のものです。26年度の歳入・歳出の執行額は5月31日に確定するため、実際の決算額とは異なります。

一般会計

一般会計は、市税を主な財源とし、教育や福祉、小・中学校や公共施設の維持・管理、道路の整備やごみ処理など、行政を運営する経費の大部分を賄う会計です。

26年度の予算現額は、450億

450.5万円です。執行状況は図1・図2のとおり、歳入では収入率が91.9%、歳出では執行率90.3%となっています。

施策の大綱ごとの主な取り組み

● **明るい地域社会の形成**
松原町コミュニティセンターの開館、応急対策用物資・食料の備蓄、玉川備蓄倉庫新築工事などを行いました。

● **循環型社会の形成**
住宅用新エネルギー機器などの普及促進のため、太陽光発電や住宅用燃料電池などの設置費用を補助しました。

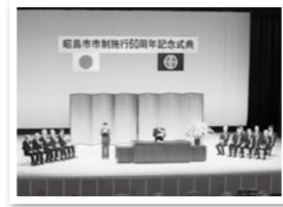
● **健康と福祉の充実**
がん検診、認定こども園の整



▲松原町コミュニティセンター



▲拝島駅南口地下自転車等駐車場



▲市制施行60周年記念式典

備費補助などを行いました。

● **教育・文化・スポーツの充実**
中神小の除湿温度保持機能復旧工事、小・中学校体育館の防災機能強化工事、拝島第一小と拝島第四小の統合のほか、つつじが丘南小とつつじが丘北小の統合に向けた準備を行いました。

● **快適な都市空間の整備**
東中神駅自由通路などの整備に向けた実施設計、拝島駅南口地下自転車等駐車場整備や拝島駅南口周辺道路の擁壁築造工事などを行いました。

● **産業の活性化**
産学官金(商工業・大学・行政・金融の専門機関)が連携し、地域産業活性化に向けた調査・研究を行いました。

● **市制施行60周年記念事業**
記念式典や子ども議会の開催、若手県民会館と地球環境保全のための連携事業などを行いました。

図1 平成26年度一般会計 歳入予算の執行状況

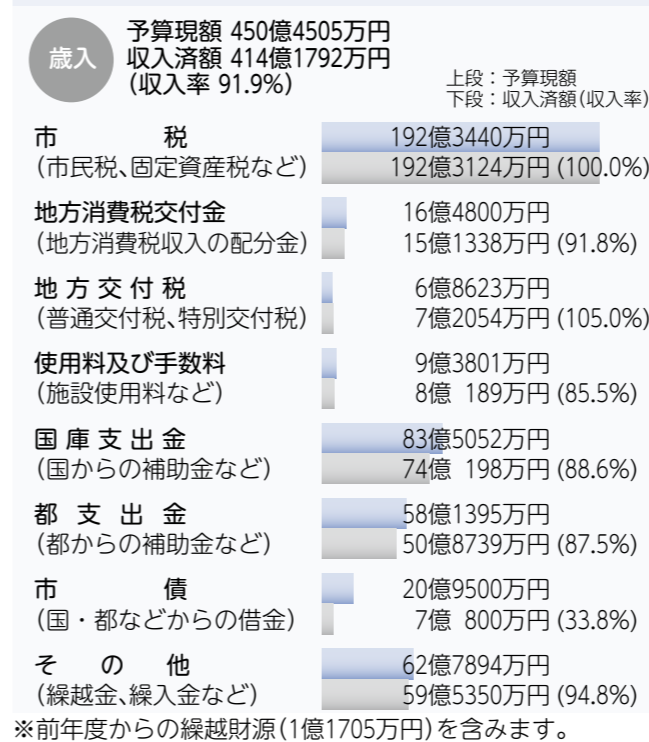
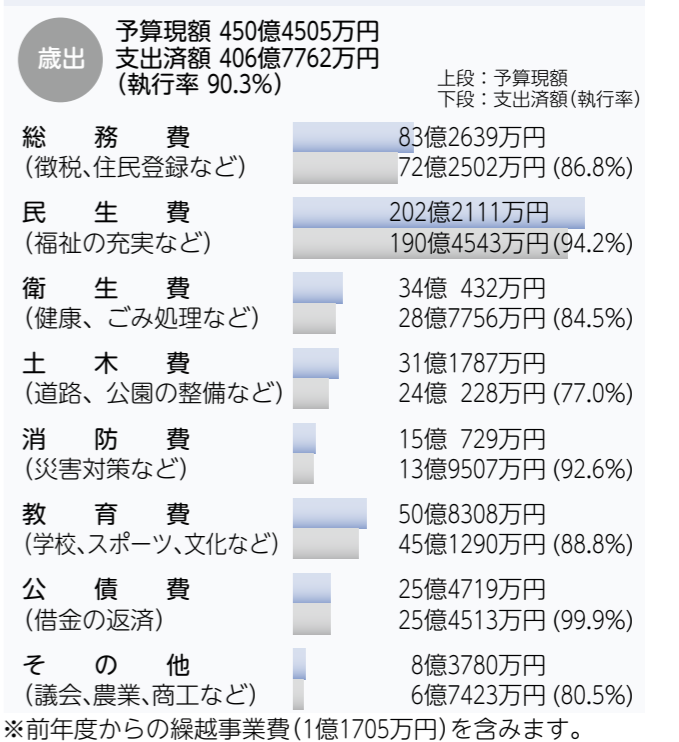


図2 平成26年度一般会計 歳出予算の執行状況



積立基金(貯金)

積立基金は、家計でいう貯金のことです。財源の不足に備えるためや、将来計画している事業のために積み立てている資金で、金融機関への預金などで運用しています。現在高は表1のとおりです。

市有財産

市が保有する土地や建物などの財産は図3のとおりです。

表1 積立基金(貯金)

基金の種類	現在高
財政調整基金	39億3660万円
特定目的基金	57億1418万円
その他	10億7766万円
合計	107億2844万円

※財政調整基金=財源の不足に備えるための基金(家計でいう貯金など)
※特定目的基金=公共施設整備など特定の目的のための基金(家計でいう学資保険や住宅購入資金積立など)

市債(借金)

市債は、家計でいう借金のことです。小・中学校や道路・公園などの公共施設は、長期的に利用するものであり、整備・改修には一時的に多額の資金が必要で、その資金を将来の市民の皆さんにも公平に負担していただくという考えで、借入れを行っています。現在高は表2のとおりです。

表2 市債(借金)

区分	現在高(元金の残高)
一般会計	
建設事業債	102億7523万円
赤字地方債	112億7286万円
下水道事業債	54億1501万円
合計	269億6310万円

※建設事業債=学校・道路・公園などの公共施設の整備・改修のための借入金
※赤字地方債=財源の不足を補うための借入金
※下水道事業債=下水道施設の整備のための借入金

市税負担、市民サービスなど

市民の皆さんが納めた市民税や固定資産税などの市税負担額とそれに対して市が行う市民サービス費用、また、貯金、借金の1人当たり・1世帯当たりの金額は図4のとおりです。

市民サービス費用は一般会計の支出額の中で、市税負担額との差額は、国・都からの支出金などで賄われています。

図3 市有財産

土地	56万1199㎡ (学校・公園ほか)
建物	22万1879㎡ (学校・市庁舎ほか)
貸付金	1億円 (土地開発公社)
出資による権利	1億2294万円 (昭島市育英会ほか)

図4 市民1人当たり・1世帯当たりの市税負担額、市民サービス費用、貯金、借金

平成27年3月31日現在の市税収入額、一般会計の支出額、積立基金現在高、市債現在高を人口と世帯数で割ったものです。	
【市民1人当たり】	【1世帯当たり】
17万450円	市税負担額 36万8655円
36万534円	市民サービス費用 77万9773円
9万5088円	貯金 20万5660円
23万8979円	借金 51万6871円

※27年3月31日現在 人口:11万2826人 世帯数:5万2166世帯

表3 平成26年度特別会計 歳入・歳出予算の執行状況

会計名	予算現額	収入済額(収入率)	支出済額(執行率)
国民健康保険	131億3988万円	120億9320万円(92.0%)	118億3112万円(90.0%)
介護保険	74億5599万円	72億7807万円(97.6%)	67億937万円(90.0%)
後期高齢者医療	20億2470万円	20億2500万円(100.0%)	20億216万円(98.9%)
下水道事業	32億1832万円	24億3916万円(75.8%)	19億7739万円(61.4%)
中神土地区画整理事業	3億8670万円	3億5224万円(91.1%)	2億2932万円(59.3%)
合計	262億2559万円	241億8767万円(92.2%)	227億4936万円(86.7%)

特別会計は、特定の事業を行う場合に、その運営や経理を明確にするため、一般会計とは別に収支を管理する会計です。

各会計の歳入・歳出予算の執行状況は表3のとおりです。

市制施行60周年となった26年度は、景気の緩やかな回復により市税などの増収があったものの、拝島駅南口地下自転車等駐車場整備や小・中学校体育館防災機能強化工事といった大規模建設事業が行われました。今後も東中神駅自由通路等整備事業などが予定されています。

27年度においても、今後の財政需要に対応するため、基金の取り崩しと赤字地方債の借入れにより約11億8000万円の財源不足を補わなければならない、引き続き厳しい財政状況にあります。

このような財政状況の中でも市民サービスの維持・向上を図るため、第四次中期行財政運営計画(24～28年度)に基づき事業の見直しを行い効率化を図るとともに、更なる行財政の健全化に向けた取り組みを進めます。

☆詳しくは、財政係へ。